

# あこう(のたより) 飛

9月 

発行責任者 堤 敏博

【校長室より】

## 『体育祭・五高祭を終えて』

校長 堤 敏博

今年の体育祭のテーマは「Try Angle」（奏でよう みんなの音色）でした。生徒一人一人が、さまざまなAngle（角度、方向、立場）からTry（挑戦する）した成果を重ねることで体育祭を成功させようという思いが込められていました。そして、実際、そのテーマに沿った感動的な体育祭に仕上げてくださいました。それは、3年生の実行委員が、それぞれの立場で建設的な意見を述べ、3年生の団員が動き、そして下級生が動く。そのシステムが非常によく機能していたからできたことだと思います。

また、五高祭のテーマは「キャンパス」でした。五島高校にあるたくさんの色や思いを五高祭というキャンパスに一つの大きな絵を完成させたいという実行委員の思いが込められていました。そして、その33名の実行委員が企画・運営し、その思いをほかの生徒たちが受け止め、「自分たちも楽しみながら見ている人たちも楽しませる文化」を作り上げてくれました。

さすが五島高校生だという思いと同時に、次の時代を担う生徒たちに、頼もしさを感じたのが私の率直な感想です。

また、PTAの保護者の方々には、リサイクルバザー、飲料バザー、カレーやうどんの食物バザーに協力をいただき、誠にありがとうございました。延べ91名の保護者の方に協力を得て、お陰様で充実した素晴らしい体育祭・五高祭を行うことができました。改めて感謝申し上げます。

これで秋の大きな行事である体育祭と五高祭が終わりました。この2つの行事を通して生徒たちが得たものは、友情、連帯感、達成感、人を動かす難しさなど大変貴重なもので、そのことで大きく成長したと確信しています。そして、先月紹介した藤原正彦先生の言われる「情緒力」に磨きがかかったと思います。

五高祭を節目に学校は次の段階に入ります。勉強の秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われるように、秋は何をするにも適した季節です。3年生はもちろん1, 2年生も一人一人が高い目標を持って、やるべきことに全力で頑張れるよう職員一同懸命サポートしていきたいと思っています。

各ご家庭でも、体育祭や五高祭について、生徒たちの汗と涙の結晶を家庭団らんの話題にいただければ幸いです。



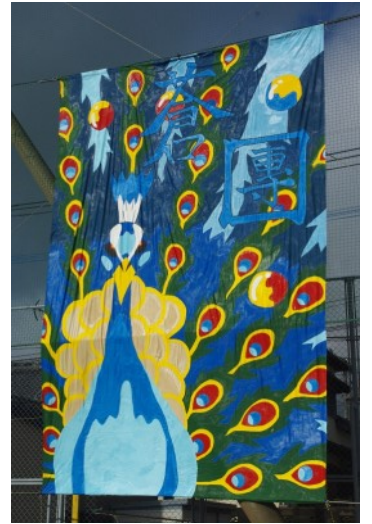
## 第67回体育祭 9月2日（日）

第67回五島高校体育祭が、本校第2グラウンドにおいて開催されました。体育祭当日は、時折雨が降り、グラウンドのコンディションも悪い中でしたが、無事終了することができました。生徒たちが泥まみれになりながらも最後まで一生懸命な姿に心を打たれた方も多かったのではないのでしょうか。また、お足元の悪い中、多くのご来賓・保護者の方々にお越しいただき、ありがとうございました。



運営では、3年生の実行委員が中心となり準備を進め、当日は、部活動を中心に係生徒も積極的に活動してくれたおかげで、スムーズに運営することができました。生徒が創り上げる、生徒が主役の体育祭にすることができたのではないかと思います。この経験を体育祭のみで終わらせることなく、ぜひ今後の生活に活かしてほしいと思います。

総合優勝	青団
競技の部	青団
入場行進の部	赤団
応援合戦の部	青団
団別演技の部	青団
応団幕の部	黄団



## 親子ふれあい活動 8月23日、24日、27日

乳幼児親子に高校へ来ていただき、乳幼児親子と生徒がふれあいの時間を持つ取り組みです。生後4ヶ月から10歳のお子様、計60名に参加していただき、お父さんお母さん方から妊娠・出産・子育てについてのお話をさせていただきました。家庭科の夏季休業中の課題で製作した手作りおもちゃを持参し、遊んでもらいました。以下は体験を終えたあとの生徒の感想です。



「今まで経験した保育実習では、子どもたちと接する機会があったけど、お母さんたちと交流する機会はありませんでした。親目線の話を知ることができ、自分たちもこんなに愛されて育てきたんだという感動と、困らせてばかりいるのに大切に育ててくれている親へ感謝の気持ちに気付くことができました。」



普段乳幼児と交流する機会が少ない生徒たちにとって貴重な経験となりました。実施にあたり、たくさんの方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

## 五高祭 9月8日（土）、9日（日）



今年度の五高祭のテーマは『キャンバス』でした。これには、まっさらなキャンバスに自分たちの色を彩っていくという意味が込められていました。

プレオープニングセレモニーでは、実行委員会企画→青春動画→準備風景→3年生作成のモザイクアートの発表を行いました。オープニングセレモニー、そしてエンディングセレモニー（グランドフィナーレ）では、演劇や動画を通して実行委員が考える『キャンバス』を高校生らしく表現することができました。

保護者の皆様には、バザーへの協力で大変お世話になりました。また、ご来場いただいた皆様にも、残暑厳しい中にご参観いただき心から感謝しています。

今後も「五高祭」が五高生にとって文化を考え、文化を表現できるステージとなるよう、教職員生徒一同、努力を重ねていきたいと願っています。今後とも、五高祭、そして本校生徒会へのご協力、よろしくお願いいたします。



## 五高祭を終えて

五高祭実行委員長 2年1組 中村信太郎

昨年度に比べると、実行委員での準備が遅れ不安だらけでしたが、オープニング・エンディング共に無事終えることができて安心しました。

また、自分自身実行委員長となって、意見をまとめることや指示を正確に出すことの難しさを痛感し、様々な面で勉強させていただきました。

こんな五高祭実行委員長についてきてくれた実行委員の皆さん、私たちをサポートしてくださった先生方、いろんな面で協力してくれた1・2年生、そして五高祭を盛り上げてくれた3年生の皆さん、本当にありがとうございました。

